

【抜粋】



『えおーじょう』かべのまち

(可部まちづくり報告書)



平成9年3月

安佐北区

ええがいにじょうグループ

目 次

はじめに

第1章 なんてこがいなことをせにゃいけんのか

1. 目的と背景 (このままじゃいけんけー)
 - (1) 可部のまちの歴史と現状..... 7
 - (2) 「可部のまちづくり」の目的.....10
2. ワークショップ経過及び全体プログラム
(わしらのやったことをおおまかにいうたらのー)
 - (1) ワークショップの経過..... 11
 - (2) プログラム.....12

第2章 わしらのやったわーくしょっぷのぜんぶ

1. 4回のワークショップの内容..... 15
(4かいのわーくしょっぷをしょうかいするけー)
 - (1) 第1回ワークショップ「まちづくり講演会」..... 17
 - (2) 第2回ワークショップ「可部のまち探検その1」..... 23
 - (3) 第3回ワークショップ「可部のまち探検その2」..... 30
 - (4) 第4回ワークショップ「可部のまち探検発表会」..... 35
2. 第3回ワークショップのテーマごとの紹介..... 41
(こがいなもんをみつけたでー)
 - (1) 根の谷川夢づくり探検隊..... 42
 - (2) 町屋お宝探検隊..... 50
 - (3) 路地探検隊..... 56
 - (4) 水の細道探検隊..... 60

第3章 これからこがいにやろうおもうとるけえ、 みんないっしょにやいましょらやー

1. 活動計画..... 73
 - (1) 生活..... 74
 - (2) 環境..... 76
 - (3) 文化..... 78
 - (4) 観光..... 79
 - (5) 住民..... 82

2. 組織計画	
(1)可部のまちづくり組織への意見まとめ.....	85
(2)目的とする組織の方向（案）.....	87
第4章 ながいことをずっとやりたいのー	
1. ワークショップに関わったメンバーから.....	93
2. ワークショップに参加した市民から.....	98
おわりに	104
資料編	
1. 参加者名簿.....	107
2. 新聞記事.....	109

わしらのやった、わーくじょうぶのぜんぶ



(1) 根の谷川夢づくり探検隊

なぜ「根の谷川」をテーマにしたの？

根の谷川は、可部地域のまちづくりの大きな要素（資源）であり、根の谷川自身も水や生物、景観、風や音、人間の生活や生産の痕跡、可部地域を育んできた歴史等々数多くの多面的要素を持っています。

こうした特性により、地域住民はそれぞれ多様な「根の谷川感」を持ち、それぞれが「理想の根の谷川感」を心のどこかに持っているのではないのでしょうか。そんな根の谷川を少しずつ持ち寄って、素晴らしい根の谷川の将来像を描くことにより、可部のまちづくりに大きな夢を与えてくれるのではないのでしょうか。

わたしたちは、可部住民の生活に密着している根の谷川の現状を調べて、「自然と人との調和」を大切にしながら、これからのまちづくりにどう活用していくかを考えてみたいと思います。

フーフショップ
根の谷川
夢づくり探検隊

参加定員 24名

探検内容
根の谷川は可部のまちづくりの大きな資源です。
水や生物、景観、風や音、人間の生活の歴史をもっています。
根の谷川の将来像を描くことにより、可部のまちづくりに大きな夢を与えてくれるのではないのでしょうか。
お宝くん, こまくん
2011.10.15

参加者（19名）

[Aグループ]	[Bグループ]
1 栗原 篤	10 荒木 美佳
2 澤野 節子	11 井手野下佳子
3 末森 展江	12 岩渕 修
4 田中 八重子	13 田阪 成美
5 真喜志梨枝子	14 下山 晃史
6 友広 和照	15 山本 辰彦
7 中川 敏幸	16 三木 啓子
8 佐々木貴美江	17 寺本 克彦
9 上川 洋	18 深田 敦弘
	19 塚本 俊明

どのような探検をしたの？

- ・根の谷川を上流は南原川との合流地点付近から、下流は上原橋までを地図・カメラ・探検手帳などを持って観察し、色々な意見を出し合いながら散策しました。

良い（いろいろな意味で）と思った所・・・お宝くん

悪い（いろいろな意味で）と思った所・・・こまったくん

- ・COD（化学的酸素要求量）のパックテストで水質の測定をしました。

- ・周辺の人にインタビューをしました。

※11/9（土）『第3回W. S. ～可部の町探検その2』では18名が参加し、上流側と下流側の2グループに分れ探検をしましたが、その後『第3回W. S. ～発表会』にむけて、上流と下流を一つにして根の谷川全体をとらえてもう一度ゆっくりと意見を出し合い、夢を語り合おうと言う事になり、11/23（祝）に11名が集まり、今度は全員一緒に下流から観て歩きました。



〈探検風景〉

探検の結果をどのようにまとめたの？

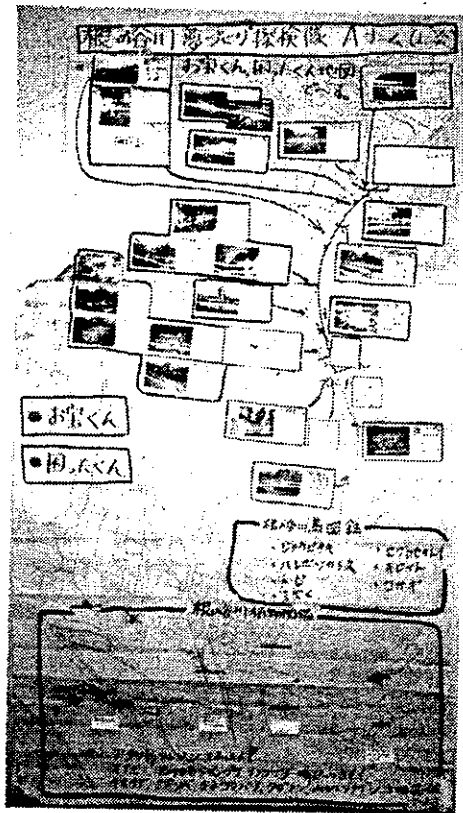
- 大きな地図に探検ルートを書き、お宝くん・こまったくんのポイントを色分けしてシールを貼付け、写真付きの発見カードも作成し一緒に貼付けて、『お宝くん・こまったくんマップ』を作成しました。
- お宝くん、こまったくんをグループ分けして、グループ毎に意見を出し合い、整備構想を検討しました。

お宝くんを増やし（守り）、こまったくんを無くす（改善）
 そのためにはどうすれば良いか → 整備構想作成

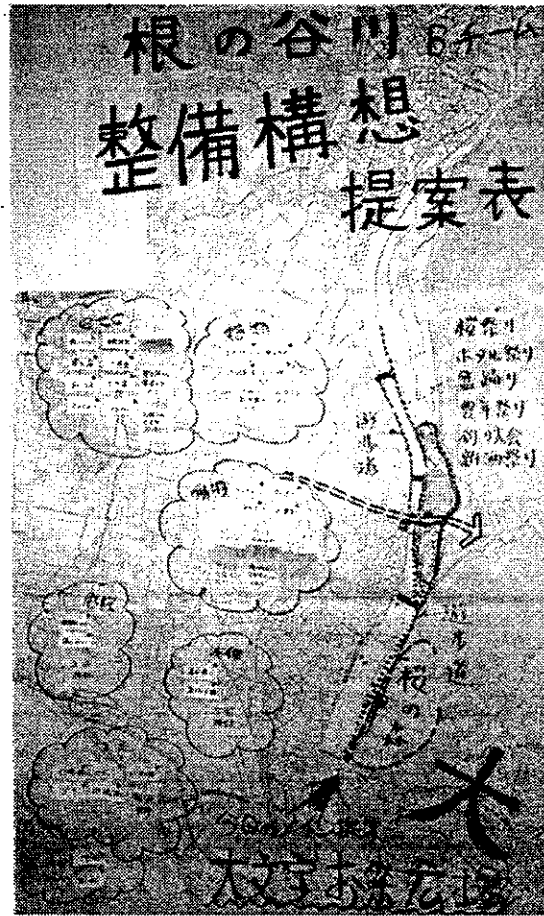
- 『根の谷川夢いっぱい公園』という大構想図を作成しました。

まとめたものはどのような内容だったの？

[11/9] Aグループによる上流側の『お宝くん・こまったくんマップ』と『まとめ』



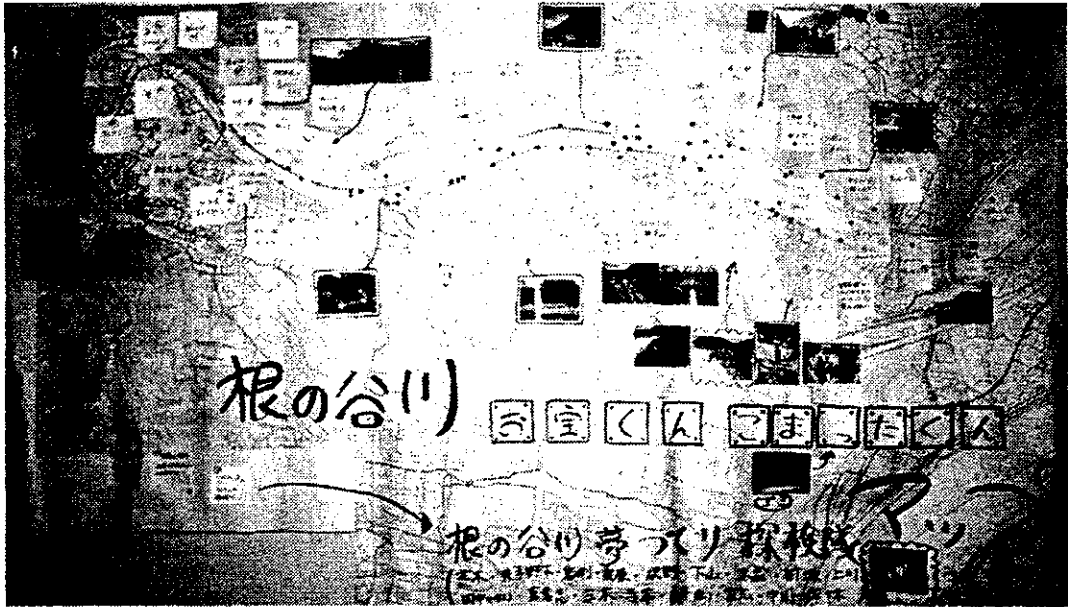
[11/9] Bグループによる下流側の『お宝くん・こまったくんマップ』とインタビューのまとめ、そして『根の谷川整備構想提案表』



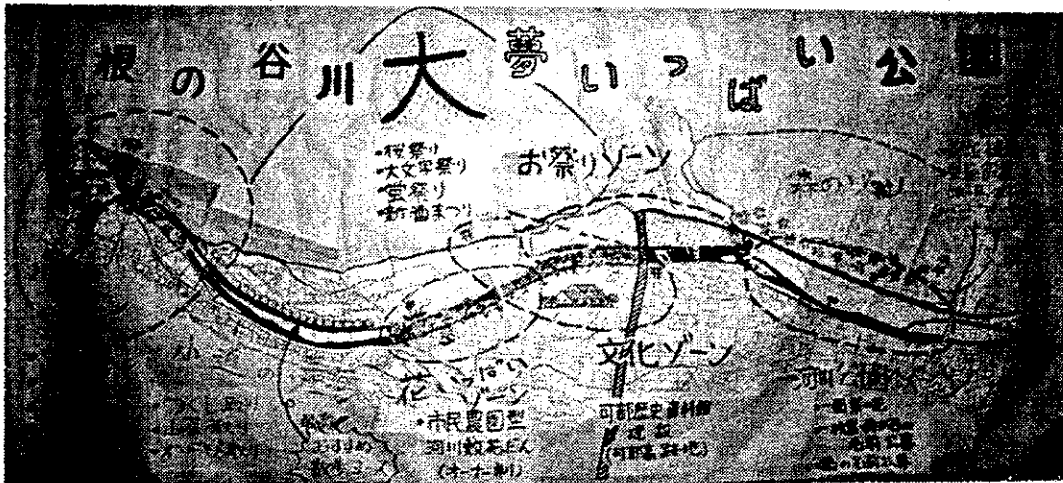
根の谷川について開きました!

Q1	Q2	Q3	Q4
根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ
根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ
根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ
根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ
根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ
根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ
根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ
根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ
根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ	根の谷川について お宝くん・こまったくん マップ

[11/23] 再度集まって探検し、上・下流合わせて作った「お宝くん・こまったくん
マップ」



根の谷川夢づくり探検隊の血と汗と涙の結晶『根の谷川夢いっぱい公園』構想図
～根の谷川周辺を7つのゾーンに分け、それぞれの中での各種イベントなども考えました。



一緒に探検に参加してくれた根の谷川夢づくり探検隊の小さな大スターの二人組紹介



〈可部小6年下山晃史くんの絵〉

根の谷川の困った君とお宝君
 山本 辰彦

今日の根の谷川探検で 困った君やお宝君とたんさん見つけた。でも 残念な事がある。困った君はお宝君と同じぐらいの数があつた。そして この探検をしてみて 思つた事は根の谷川だけでなく 色々な所に残つた。大切な自然を未来の大人、まつ、ぼんたちが守つていかなうてほしいと思つた。

また、たんさんあつた困った君を無くして
 いこうとさう。

〈可部小6年山本辰彦くんの作文〉

ま と め

	お宝くん	こまったくん
探 検	<ul style="list-style-type: none"> • COD検査ではまだまだ水はきれいだった。 • 自然が多く残っている。自然な土の土手道が良い。 • 魚がいる。川ニナがいる。ホタルもまだ少しいる。白鷺もいる。 • 子供達が釣りをしている。夏は泳いでいる。 • 川を渡れる飛び石が良い。 • 木の一本橋は地元の人の手作り橋である。 • 自分の家の前の河原に生えている草を刈って花を植えている所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 汚水排水がきたない。 (生活排水のたれ流し。) • ごみ捨て、ごみ焼き跡が見苦しい。 • 草を刈るのが大変だ。 • 川までなかなか降りれない。降りる所がない。(親水性がない。) • 橋が少なく不便。特に車が通れる橋が少なく、渋滞することがある。 • 堤防が狭く危険な所がある。 • 周辺景色が必ずしもきれいとは言えないところがある。 (工場、スクラップ置場)
イ ン タ ビ ユ ー	<ul style="list-style-type: none"> • 水がきれい。まだ魚釣りをしたり、泳いだりしていますよ。 • 根の谷川の整備されていないところが好き。 • 水の音が心地好い。 • 鳥がたくさんいる。 • 土の道が良い。 • 自然の川である(人工的でない)所が好き。 • 景色が良い。 • 家に川風が入り気持ち良い。 	<ul style="list-style-type: none"> • 汚い。ごみや空き缶が捨ててある。 • 油が流れている。 • 排水のたれ流しがある。 • ごみを焼いた跡が余りきれいでない • 昔はホタルが沢山いたが、今は少なくなかった。 • 昔はもう少し水深があり泳いだり、岩の上から飛び込んだりしていた。 • 川の草を刈るのが大変。 • 橋が少ないし狭い。 • 工場廃水で泳げなくなった。 • 護岸の改修工事がいけん。魚が住めるような工夫をしてほしい。

◇意見・感想など

- 堤防は自然のままが良い。舗装して欲しくない。
- 下水道の整備が少しでも早くなれば嬉しいです。
- 子供達が遊べて、釣のできるような楽しい河川公園にしたい。
- 一人一人が川を汚さないよう努力することが大切である。
- ホテルが住める。白鷺が飛んでくる、この自然を残そう。
- 木や花がいっぱいのきれいな川土手にしたい。散歩道を作ろう。
- お祭りのできる河川敷にして、豊年祭りを復活させよう。
- 大文字祭りをもっと魅力的なものにして、盛り上げよう。

《根の谷川鳥図鑑》

ジョウビタキ
ハシボソカラス
トビ
スズメ
セグロセキレイ
キジバト
コサギ

《根の谷川植物図鑑》

ジュズダマ=実を集めて、糸を通して、
 ネックレスを作る
クコ =健康茶として一時もてはや
 された
ノブドウ =実も色の変化があり、葉の
 紅葉が美しい。
ワルナス =花がナスの花に見える。
 実は熟すと黒くなる。
アサツキ、クレソン、オナモミ、
アメリカセンダングサ、イノコヅチ、
イヌタデ、ミゾソバ、タネツケバナ、
タガラシ、ムシトリナデシコ

◇まとめ

今回の探検で、たくさんのお宝くん、こまったくんを発見することができましたが、その中の項目についてグループで話をしている、こまったくんの項目の反対がお宝くんになっているものがあることに気がつきました。例えば、

- 水が汚れている。←→ 水はまだきれい。
- 橋が少ない。道が狭くて不便。←→ だから自然が残っている。土の道がある
- ごみ捨て、ごみ焼き跡など景観を損ねている。←→ 景色がきれい。

これらが何を意味するか考えてみますと、「自然と利便性は常に背中合わせにあり、どちらが優先されるべきかは人の心で決まる。」と言うことである。探検の途中である人が、「自然と人のつき合い方について、自然を保護するよりも自然と仲良く、自然と人間がお互い我慢し合える関係でいることが大切である。」といわれていました。人それぞれの感じ方・考え方が違う中で、どのようにこの根の谷川と付き合っていくか、今回の探検を少しでも今後のまちづくりに役立てたいと思います。

これから2が1にや3うおもーとるけー、
みんないっしょにやしましょーやー

第3章



はじめに

まちづくりにおいては、地域住民がどのような組織で、どのような活動をしていくのかが、これからの最も重要な課題です。

私たち市民グループは、『これからどうするか』をテーマに、グループ別、テーマ別の発表会の内容や、町探検の時の参加市民アンケートの意見、町カルテの意見等々、子供からお年寄り迄の広範囲な意見を集め全員参加による数回の討論会を行い、これからの進め方についてまとめてみました。

大略『みんながどうやってあつまるのか』という組織計画と、『こがいなことをやろうおもしろんじゃが』という活動計画に大別してまとめてみました。

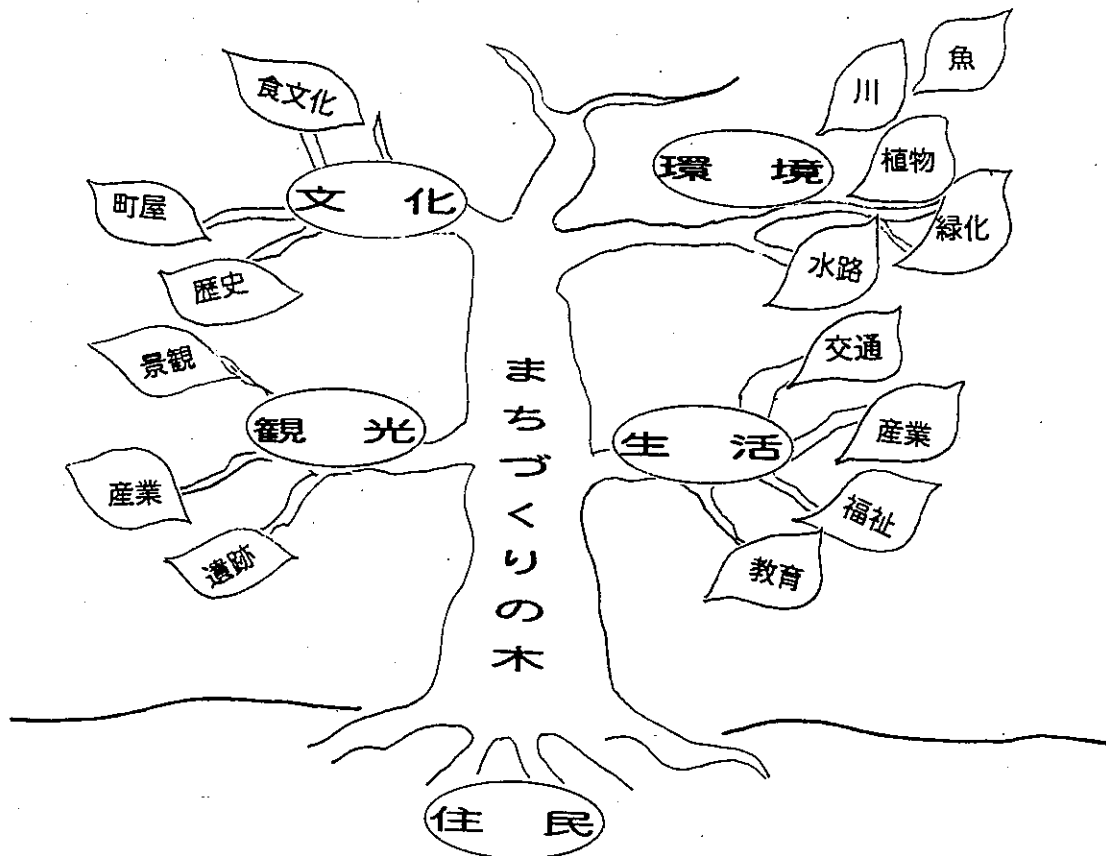
1. 活動計画

まちづくりの活動計画の中で、住みよい町（ホッとする町）をイメージすると、下図の様な『まちづくりの木』に集約されます。

又、それぞれの大きな枝（文化、環境、生活、観光）はもちろん、小枝の部分も、もれなくバランスよく進めていく事が必要です。

さらに、住民について、この『まちづくりの木』を支えるの根の部分として位置づけることにより、自らも大きく育ち、その結果住みよいまちづくりが進むという、相乗効果が生まれます。

やはり、これからのまちづくりの活動は、より多くの市民が参加し、一步一步、着実に進んでいく事が出来るかどうかにかかっています。



(1) 生活

ここでは、「生活」を産業、福祉、交通教育の4つの視点からまとめてみました。特に、待ったなしの可部の交通網の整備、さらに通り抜け道路と化してしまった旧街道を町づくりの核として、今後どうすればよいのか、また親子のふれあいができるイベント広場の設置等様々な提言がありました。

①産業

ア. 地場産業の振興

- ・地元企業・商店を巻き込む。
- ・醤油・酒・菓子等の地元PR。
ポスターづくり
- ・鋳物を使ったモニュメントづくり
ゴミ箱、街灯、サイン等
公園等への配置を考えていく。

②福祉

ア. 市民参加

高齢者、障害者の健康維持と社会参加のため市民グループが自ら車椅子等を実体験し、行政に改善を求める。

- ・一入暮らしの老人、寝たきりの老人のため配食システム及び緊急装置設置の確立をし市民グループがボランティア精神で取りくむ。

③交通

ア. 交通渋滞の緩和

- ・可部バイパスの早期完全開通
- ・署名、要望書の提出（行政へ）
- ・バス、JRへのアクション、働きかけをする
- ・191号線のバス路線を一部、新大毛寺線に移す。
- ・54号線の迂回道路の早期開通

イ. バス、JRの有効利用による活気とゆとりのある町づくり

- ・町内循環バス

企画カード

企画名	可部の特産品と地元の人々と利用
分類Ⅰ	行政連携型
分類Ⅱ	文化・生活・産業
①可部の米と水を使った酒をアピールする ②可部のうまいものマップをつくる ③可部産の食品はまず地元民が利用しようというPRや自覚をもつこと ④作って食べるイベントを ⑤スーパーに可部特産品コーナーを作ってもらう ⑥可部独自の食文化の発見	

企画名	旧国道の交通量調査
分類Ⅰ	自主活動, 自主検討
分類Ⅱ	生活(交通), 住民
○夏休みに、「折り目」付近で、旧国道沿いの人達や市民グループで、旧国道の交通量を調べ結果を参加した人達で考える ○旧国道（特に折り目付近の町並み）を活かすのか、活かさないのか考えるため、旧国道の「道」としての機能を調べる	

企画名	交通体系の整備
分類Ⅰ	行政への提言型
分類Ⅱ	生活(交通), 観光
① 町内を回るバスを走らせる ② JR緑井～可部を10分毎に（現20分毎） ③ 高陽、可部、あさひが丘のバス路線開設 ④ 生活バス以外に観光案内的バスで、可部町をPRするバスも ○ 54号線の渋滞・企業転出・応急処置 毛利元就ブーム・マイカー減・八木大型店	

- ・安佐町、可部町、高陽町をつなぐバス路線の開設

ウ. 旧国道を人に優しい生活道路に戻す。

- ・日曜の歩行者天国、歩道の新設
- ・石畳、ブロック路面による速度規制
通過車両の時間規制
- ・旧国道イメージアップにつながる新しい名称を考えよう。
- ・地元商店街との連携

④教育

協育 共育 強育 競育

ア. 文化、スポーツの機会の提供

- ・可部町子供発表大会
- ・子供と親のための講演、演芸会
(おもしろおかしく、自然に)
- ・子供の健全育成のために可部運動公園でイベントを開く。
- ・スポーツ関係団体との(体協など)との交流を深める。
- ・公民館グループ、区民文化センターとの交流をはかる。

イ. 小、中学校の行事教育の1つに「可部を歩く」をテーマに課外活動を作る

ウ. 子供に夢を与える企画

- ・ギネスに挑戦
- ・夏休みに可部町全員で大ラジオ体操大会

エ. 「おはようがんす」挨拶運動

オ. 親子で楽しめる広場の設置

- ・広い多目的広場、お祭り広場がほしい。
- ・可部のテーマパークを作る。
- ・子供が自然を好きになるエリアを作る。
- ・親子で楽しめる運動公園や広場がほしい
- ・可部高校のグラウンド跡地を含めて大きなお祭り広場にする。
- ・どんな施設広場を夢見ているのか子供のアンケートをとる。デザインの公募。

企画名	旧道歩行者天国
分類Ⅰ	自主活動型
分類Ⅱ	観光, 産業
①大文字の日に、大文字を見ながら、旧道で地元品の販売、音楽のゾーン、フリーマーケット、大道芸、露店、etcがやりたい。 ②日曜日の朝のみ、二時間くらい朝市 ③旧道をスピードの出過ぎない、石畳、orかまほこ舗装をする。 ④路地裏スタンプラリー	

企画名	可部町子供発表会
分類Ⅰ	自主活動
分類Ⅱ	文化, 教育
○青少年健全育成協議会主催の小中高生の意見発表会と、各学校の音楽演劇等の発表会をジョイントして区民センター大ホールで1日かけて行う。小・中・高13校の生徒保護者が一同に会して何かを発表する機会を提供出来れば、将来的にも有意義なことと思います。	

企画名	可部のまち遊歩道整備
分類Ⅰ	行政提言型
分類Ⅱ	観光・環境・生活(健康)・文化
○可部のまちをカップルや観光客や地元の人々が、自由に楽しく歩ける遊歩道を整備する。 ○町屋などその他可部の町の特色を各所に置いて見て廻れるようにする。	

(2) 環境

環境という言葉には、必ず環境汚染という言葉がついてまわる程、「環境」というものは、汚染されるもの、汚染されていくものと思わざるを得ないこの頃です。

可部の町も例に漏れず、川が、水路が、野山が汚染されてきています。

今、私たち一人一人が心掛けることで、環境は守られるのでしょうか。もし、汚染にブレーキが掛けられるのなら、きれいな自然が戻るのならばと願いながら、自分たちで、出来そうなことや夢を話し合ってみました。

まず、水路、川、野山、道に分けてまとめてみました。

①水路

- ・水路をきれいにする運動をしたい。
- ・水と親しみ、川や水路を可部のまちの財産にしたい。
- ・水が流れているのが分かる水路に
(蓋は中が見えるもので)
- ・魚や川ニナの棲める水路にしたい。
- ・一本の水路だけでも、年中水を流し、鯉を放ち、菖蒲を植えたい。

②川

- ・川を美しい憩いの場に蘇らせたい。
- ・根の谷川の草を除去したい。
- ・河川敷にお祭り広場公園を作りたい。
- ・根の谷川で沢山の子供が泳げるようにしたい。

③野山

- ・高松山・寺山・根の谷川を整備し、自然環境を守りたい。
- ・小鳥のための実のなる木や、桜紅葉等を植えたい。

企画名	遊休地を憩いの場に緑いっぱい運動
分類Ⅰ	自主活動
分類Ⅱ	環境, 住民
<ul style="list-style-type: none"> ・可部町の遊休地の有効活用を図りたい。 ・住民+市民グループ+行政で ・メンテナンスは地域住民の自主運営 ・市民グループの活動の理解へ、地域住民行政に対してアピールしていく ・関係地域市民を巻き込むことがポイント 住民対話を原則 	

企画名	高松山・寺山・根の谷川の整備
分類Ⅰ	行政連携型
分類Ⅱ	環境, 住民
<p>○高松山, 寺山, 根の谷川を整備して自然環境を守り、楽しめる環境作りをする。</p> <p>①根の谷川 堆積草類等の除去, 桜等の植樹</p> <p>②高松山等 道しるべ, 登山コース, 桜の支援</p> <p>○レイジャー公募, 町づくりグループ全員 市民グループの受託業務→活動資金</p> <p>「自分の町は自分たちで美化する」という意識</p>	

企画名	根の谷川多自然型川づくり
分類Ⅰ	行政連携型
分類Ⅱ	環境, 文化
<p>○うるおいを有する川づくりをすることで、人は自然にここに集まるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあう事を目的としたイベント可能 ・遊歩道の完備 ・根の谷川夢構想の実現 ・多自然型川づくりの学習, 共有が必要。 <p>※ 石州街道 出雲街道 宿場町 根の谷川 根の谷川を憩いの場→人々が集い、町並みの再発見につながる</p>	

企 画 カ ー ド

- ・高松山の道しるべを作りたい。
- ・花をいっぱい植えて、一年中楽しめるようにしたい。
- ・木に名札をつけてあげたい。
(親しみが持てるので)
- ・鳥の説明盤を作り設置したい。

④道

- ・高松山・三入に向けての登山道の整備。
- ・野山とふれあえる道の整備をする。
- ・桜並木の土手、遊歩道の整備をし、素敵な散策道を子供達に残したい。

◎4つのキーワード

水路、川、野山、道に分けて、話し合いを進めてみましたが、こうした活動に共通するキーワードが見えてきました。

①美化

市民グループが主体となり、草刈り、ゴミ拾いをする。

②浄化

浄化手段を研究して、実施可能性を行政と一緒に検討する。

③開発

水の総合利用、特に雨水の活用を行政に提言する。

④環境診断

市民グループが、動植物の調査を実施して、環境レベルを把握する。

企画名	水の浄化運動
分類Ⅰ	行政連携型
分類Ⅱ	環境
<ul style="list-style-type: none"> ・水の浄化手段を研究して、実施可能性を行政と一緒に検討する。 ・水路の取水口や湧き水の場所に説明板を設置 ・魚も川二ナもいる水路をきれいにしたい。 ・メイン水路を指定して魚が泳ぎ、菖蒲の咲く水路を一つでも作りたい。 ・雨水の活用を行政に提言する。 	

企画名	環境診断
分類Ⅰ	自主活動型
分類Ⅱ	環境
<ul style="list-style-type: none"> ・市民グループが、動植物の調査を実施して、環境レベルを把握する。 	

企画名	クリーンアップ大作戦
分類Ⅰ	自主活動型
分類Ⅱ	環境
<ul style="list-style-type: none"> ・土手のゴミ拾いを学生とする。 ・根の谷川の大掃除をする。 ・根の谷川の草刈りや、清掃のボランティア活動をする。 ・花をいっぱい植えたい。 ・木に名札をつけて、大切にしたい。 ・野山とふれあえるように整備したい。 	

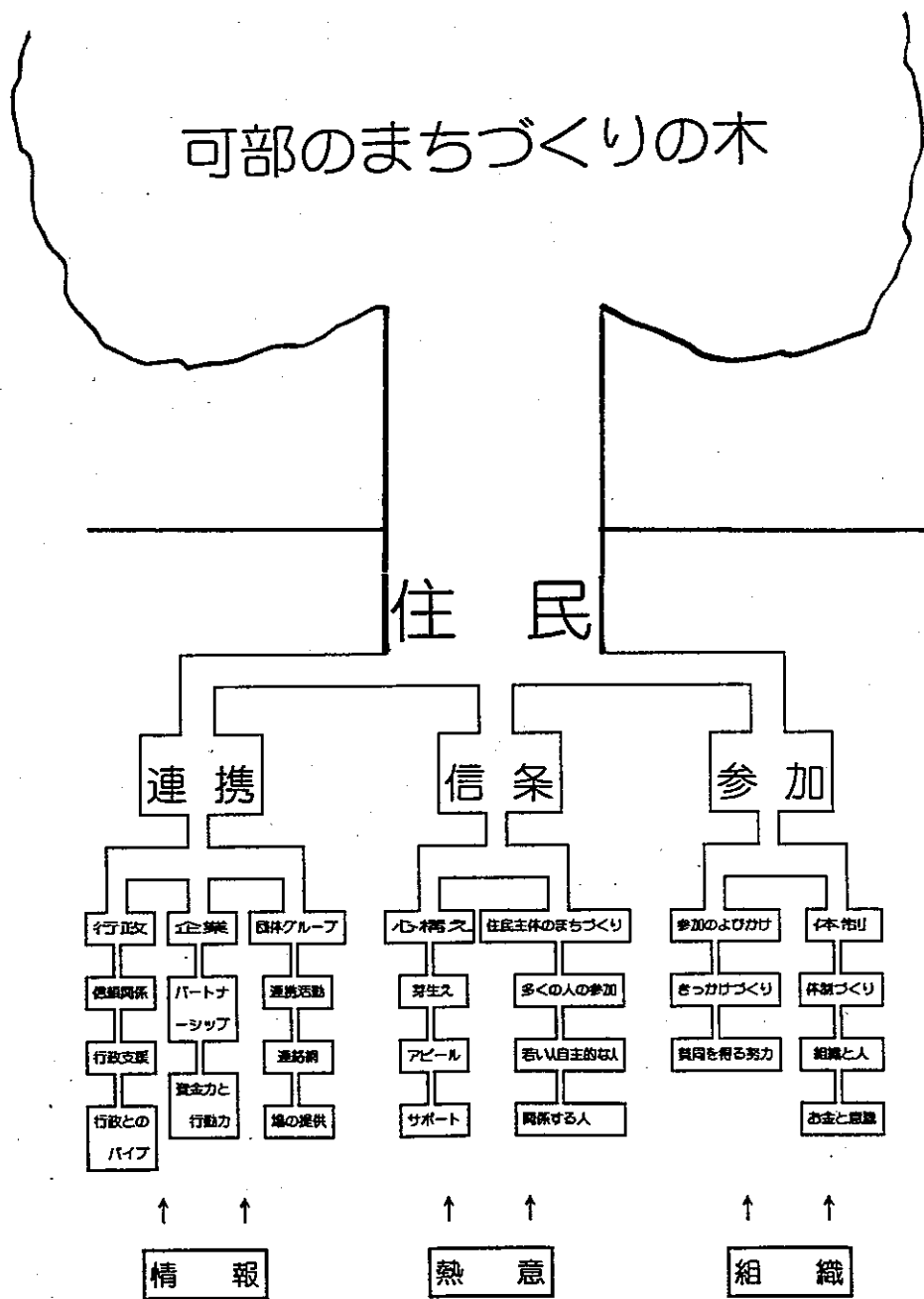
(5) 住 民

可部をよくする木の大きな幹や枝として文化、環境、観光、生活、の4つを考えてきました。楽しくて、夢のある花や実がなりそうです。

けれど、この木の葉を茂らせ、花を咲かせ実を結ばせるには、しっかりした根っこが必要です。可部のまちづくりの為に、最も大切な根っこ、それが私達住民なのです。私達住民が、しっかりとした根っこを、可部のまちに張り巡らせ、まちづくりの木を育てましょう。

私たち住民の活動について、3つのキーワード「信条・参加・連携」を掲げたいと思います。

下記にまちづくりを育てる大切な根っことキーワードの関係を模式図に示します。



市民グループの意見を紹介する形でそれぞれを説明します。

企 画 カ ー ド

①信 条

ア. 住民主体のまちづくり

- ・まちづくりは、住民参加によって初めて実現できる。
- ・多くの人の参加・理解が必要
- ・若い人、自主的な人の参加が必要
- ・関係する人、例えば旧道に関する活動なら旧道沿いの人達の参加が必要

イ. 私たち自身の心構え

- ・熱い思いの信念が必要
- ・住民参加の芽生えを大事にすること
- ・地域住民、行政等へのアピールが必要
- ・地域住民の支援がいただけるように

ウ. 信条への肥料としての熱意

- ・ホッとするような町にしたい
- ・形の残ることを
- ・高度成長で失ったものをとりもどす

②参 加

ア. 体制

- ・住民の夢を実現できるしっかりとした体制が必要
- ・中心となるグループや委員会が必要
- ・活動による運営資金の確保
- ・自分達でなんとかするという意識が必要

イ. 参加の呼びかけ

- ・きっかけづくりが必要
- ・賛同を得る地道な努力が必要

ウ. 参加への肥料としての組織

- ・市民ネットの組織づくり

企画名	遊休地を憩いの場に緑いっぱい運動
分類Ⅰ	自主活動
分類Ⅱ	環境, 住民
<ul style="list-style-type: none"> ・可部町の遊休地の有効活用を図りたい。 ・住民+市民グループ+行政で ・メンテナンスは地域住民の自主運営 ・市民グループの活動の理解へ、地域住民行政に対してアピールしていく ・関係地域市民を巻き込むことがポイント <p>住民対話を原則</p>	

企画名	旧国道の交通量調べ
分類Ⅰ	自主活動, 自主検討
分類Ⅱ	生活(交通), 住民
<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みに、「折り目」付近で、旧国道沿いの人達や市民グループで、旧国道の交通量を調べ結果を参加した人達で考える ○旧国道(特に折り目付近の町並み)を活かすのか、活かさないのか考えるため、旧国道の「道」としての機能を調べる 	

企画名	行政の動き
分類Ⅰ	行政提言型
分類Ⅱ	住民と行政
<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりは、住民参加によって初めて実現 ・住民参加の芽生えを大事に育てることが必要 <p>住民参加を根付かせるためには、息の長い、行政の支援の下に自立した市民意識を育成</p> <p>今年度は行政関係部署が横断的なプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ①都市計画マスタープラン構想 ②高齢化時代に対応した福祉のまちづくり構想 	

③連携

ア. 団体・グループ

- ・横の連携のための企画調整を
- ・自治会とも連携活動
- ・情報交換や連携できる連絡網を
- ・各種団体への場の提供

イ. 企業

- ・経済界とタイアップした新しいまちづくり (パートナーシップ)
- ・企業の資金力と住民の行動力

ウ. 行政

- ・行政との信頼関係が必要
- ・行政は住民の声を大切に
- ・行政支援の下に住民意識の育成を
- ・行政とのパイプ役に
- ・常に行政とのパイプを
- ・グラントワークトラスト, NPO

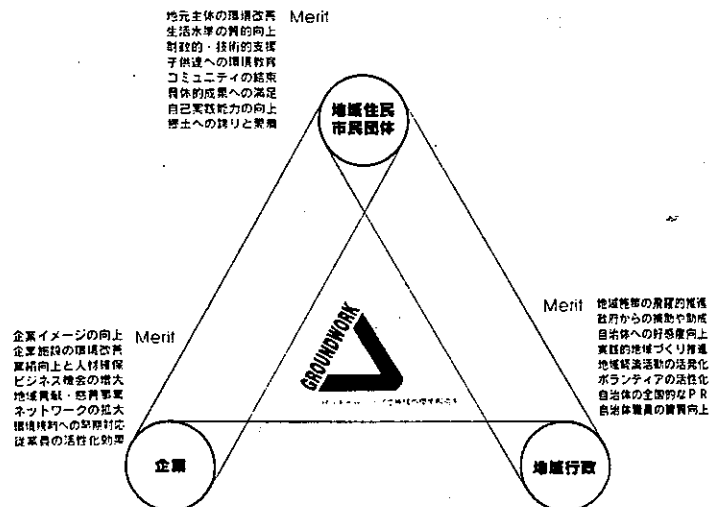
エ. 連携への肥料としての情報

- ・行政情報, 企業情報, 団体情報
- ・収集と発信
- ・マスコミ
- ・ニューメディア

企画名	高松山・寺山・根の谷川の整備
分類Ⅰ	行政連携型
分類Ⅱ	環境, 住民
<p>○高松山, 寺山, 根の谷川を整備して自然環境を守り, 楽しめる環境作りをする。</p> <p>①根の谷川 堆積草類等の除去, 桜等の植樹</p> <p>②高松山等 道しるべ, 登山コース, 桜の支援</p> <p>○レイジャー公募, 町づくりグループ全員 市民グループの受託業務→活動資金</p> <p>「自分の町は自分たちで美化する」という意識</p>	

企画名	市民ネットの組織・可部カラスの会
分類Ⅰ	組織づくり
分類Ⅱ	住民
<p>○当面現在の市民グループを中心にした組織 『可部カラスの会』(仮称)を結成</p> <p>当面の各種市民活動を行いながら, 市民ネットの準備を進める</p> <p>当面の活動は『可部カラスの会』で</p>	

グラントワークトラストのイメージ図



2. 組織計画

活動計画ということで、可部のまちづくりの木の、枝毎に、活動の方向や内容についてまとめてきました。それでは実際どう進めて行くのかということになります。一人ではなにも出来ません。可部のまちづくりは、より多くの市民が参加し、継続して行動していくことが、最も必要だと思われます。そのためには、みんなが集まれる組織、みんなが気楽に参加・活動出来る組織が必要です。私たち市民グループは、どんな組織が好ましいのか、意見を出し合ってみました。

(1) 可部のまちづくり組織への意見まとめ

I. どんな組織が必要か	
<ul style="list-style-type: none">・ネットワーク組織, アメンバー組織・一人一人が得意分野で・将来的には, 安佐北市民ネット・しっかりした核	<ul style="list-style-type: none">・ゆるやかなネットワーク・事務局はしっかり・将来的発展・専門家とのタイアップ
II. どんなメンバーで組織すべきか	
<ul style="list-style-type: none">・年齢が幅広く・地域会員と個人会員・より多くの住民参加を目指す・当面は市民グループで	<ul style="list-style-type: none">・必ずテーマの住民の大半を巻き込む・市民グループを中心・市民参加のネットワーク・当面の活動組織『可部カラスの会』
III. 組織としてどういう活動をするべきか	
<ul style="list-style-type: none">・地域社会に貢献・年1~2回は全員でボランティア活動・誰でも気軽に参加・PR, 市民の賛同を得る・市民活動(現在の活動の継続等)・地域への広報活動を	<ul style="list-style-type: none">・全員が賛成出来る事・情報収集活動・住んでいる人達が愛せる町づくりへの支援・市民ネットの設立準備・各種活動の支援コンダクター
IV. どういう運営をすべきか	
<ul style="list-style-type: none">・クリーンで分かりやすく, 誰でも理解・集まりやすい環境づくり・可部町商工会の中・行政に事務局付常務はボランティア・開かれた運営・若い人が気軽に顔をのぞかせられる	<ul style="list-style-type: none">・長続きする組織づくり・町づくり事務所を設営・当面現在のような形で・皆で話し合える体制・とりあえず事務局を設置・各種団体との連携
V. どういうところがポイントか	
<ul style="list-style-type: none">・持続出来る, 根付かせる事・全員で納得するまで 話し合う事を大前提	<ul style="list-style-type: none">・大半の参加による決定・『活動場所とお金』が心配

- ・必要最小限の組織, 基本はボランティア主体
- ・活動資金をどのようにするか
- ・敷居の低い、活動を継続させる
- ・情報がスムーズに
- ・具体的には行動計画後
- ・ざっくばらんに話し合える会
- ・排他的でない

これらの意見からのキーワード

だれでも参加出来る活動 地域貢献 開かれた, 集まりやすい、長続き 情報; ネット
 持続, 合意 ゆるやかなネットワーク より多くの住民参加を目指す
 しっかりとした事務局(核) 将来的発展 当面は市民グループで出発
 場所, お金, 組織の検討

活動計画企画カードからのキーワード

I. 自主活動型		
a, 旧国道の交通量調べ	b, 可部のまち写真集	c, 遊休地を憩いの場、緑いっぱい運動
d, 史跡名所巡り	e, 可部町子供発表大会	f, 旧道歩行者天国
II. 行政連携型		
a, サイクリングのまち可部	b, 根の谷川多自然型川づくり	c, 高松山・寺山・根の谷川の整備
d, 郷土資料情報センター	e, 大ツリー	
III. 行政提言型		
a, 交通体系の整備	b, 可部のまち遊歩道整備	c, 行政の動き
IV. その他		
a, 市民ネット・可部カラスの会		
<p>行政と密接に関連、多種多様な企画, 他の団体との連携</p> <p>→行政や他の団体から存在を認知してもらう必要</p> <p>→そのためには, しっかりした組織, ある程度以上の規模</p> <p>多くの市民参加, 幅広い活動内容, 幅広い活動エリア</p>		

これらのキーワードには, 同意のものや, 相反するものもあります。

とりわけ, 各種の活動のための, しっかりした, ある程度の規模の組織では, それなりの規約や, 役員体制, 予算の管理や計画・執行等, 個人としては, 束縛感を感じる部分, 結構煩わしく感じる部分を備えなければなりません。こうした点『自由と責任』をどう考えて行くか, 組織として, この相反する(一般的捕らえ方として) 感覚をどう克服して行くかが, 継続して楽しい活動を行える組織検討の大きなポイントになりそうです。

こうした点をふまえ, たたき台をつくってみました。

(2) 目的とする組織の方向 (案)

a. 総論

○ 活動目的

自分たちの住む地域を、自らが愛し、自らが考え、自らが行動し、協力と連携のもと、それぞれが磨きあいながら、すばらしい地域に育てていくことを目的とする。

○ 組織員

本組織の目的に賛同する全ての人、組織、団体

○ 活動・組織エリア

行政と連携した各種のまちづくり活動実践のため、最終目標として安佐北区、つまり行政と同エリアの活動団体を目指す

○ 全体組織と地域組織

全体組織は、主に安佐北区全体の各種活動のネットワーク活動を行う。

(安佐北区NPOセンターのイメージ)

活動主体は、地域組織となり、全体組織は地域組織のゆるやかな連合体とする。

各種のまちづくり活動は、各地域での展開となるため、地域組織はのエリアは旧町単位(可部、安佐、白木、高陽)とする。

この地域組織をしっかりと組織(体制・運営・資金・活動)として展開する。

当面の組織案

『可部カラスの会(仮称)』発足(案)

趣 旨	自分たちの住む地域を、自らが愛し、自らが考え、自らが行動し、協力と連携のもと、それぞれが磨きあいながら、すばらしい地域に育てていくことを目的とする。
活動内容	趣旨にそった各種のまちづくり住民活動を行う なお、本会は可部のまちづくり協議会(前述)に発展することを目標と定め、各種活動とあわせ、組織の整備も進めて行く
会 員	本主旨に賛同されるすべての人を歓迎する 当面、可部のまちづくりワークショップに参加された市民グループを中心に発足し拡大を進める
運 営	開かれた運営を目指するため、完全公開とし、自主参加の企画運営協議会を開催し、意志決定については、出来る限り多くの組織員の意見を聞くシステムを導入する。 とりわけ、組織体制の整備については、十分に協議を行っていく。

世話人体制 多くの個人や団体に参加していただくため、そのとりまとめや、企画運営協議会の開催調整、各種活動の渉外等々、みんなの代表として、世話人体制は必要となるため、事務局に次のような世話人体制を検討する。

組織運営部、広報情報部、活動部

事務局 事務局は、本組織の玄関として、広く多くの人に参加いただくため、常設常駐を目指す。当面、（世話人）代表、事務局長、会計、組織運営部長、広報情報部長、活動部長の4役6人で出発する。

当面、（世話人）代表、事務局長、会計、組織運営部長、広報情報部長、活動部長の4役6人で出発する。

資金 当面は、当座の連絡活動資金として、入会金2000円（補助5年額2000円）を集め、その後の活動費については、組織運営部を中心に検討を進める。

私たち市民グループは、可部のまちを古くから知っている人、この町が好きの人、古くからある文化遺産を残したい人等々、いろいろな人の自由な集合体（ネットワーク組織）で、誰でも自由に参加出来るグループを目指しています。

可部の町の活性化を願っている人『あつまれー』

b. 地域組織について

○組織員

個人も組織も同人格とした上で、個人会員と、団体会員、行政会員とする。

誰でも気軽に各種活動に参加出来ることを目指すため、活動については会員である無しの区別は絶対行わない。

つまり会員とは、活動に参加するための会員ではなく、意欲的に活動を進める牽引者としての役割を担う事となる。

○意志決定

開かれた運営を目指すため公開自主参加の企画運営協議会を開催し、意志決定については、出来る限り多くの組織員の意見を聞くシステムを導入する。

○運営役割体制

多くの個人や団体に参加していただくため、そのとりまとめや、企画運営協議会の開催調整、各種活動の渉外等々、みんなの代表として、役割体制は必要となるため、事務局に次のような世話人体制を検討する。

組織運営部、広報情報部、活動部（実際の活動）等々

○事務局

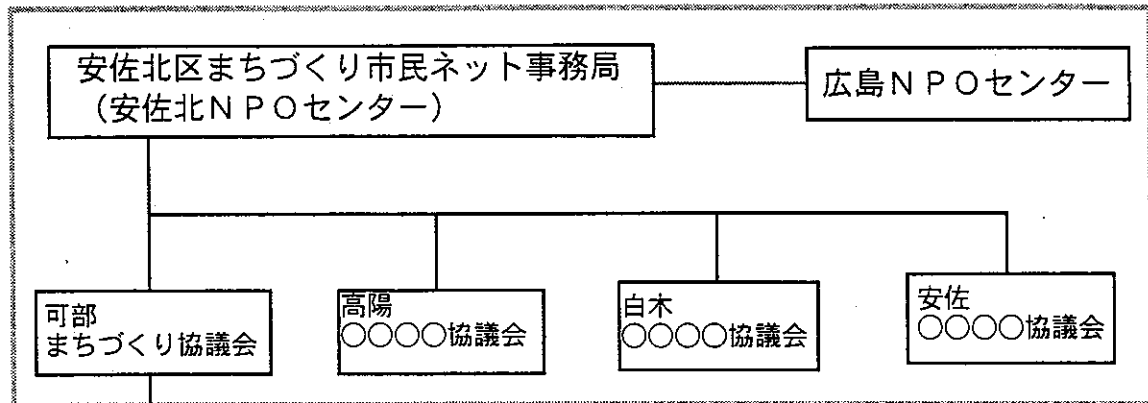
事務局は、広く多くの人に参加いただくため、常設常駐を目指す。

○資金

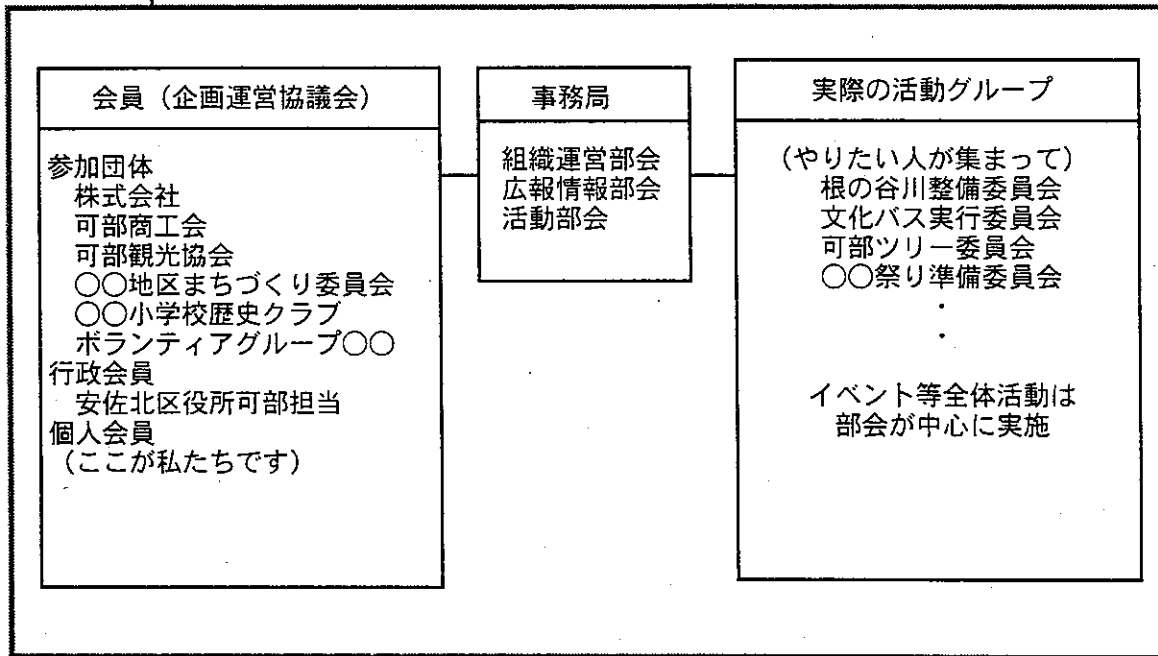
資金の流れを明白にし、目的予算とするため、必要最低限の運営資金を、会費として集め、活動資金については、各活動毎に独立会計とする（出納は事務局対応）

c. 当面の組織について

安佐北区まちづくり市民ネット組織検討の一例



将来構想

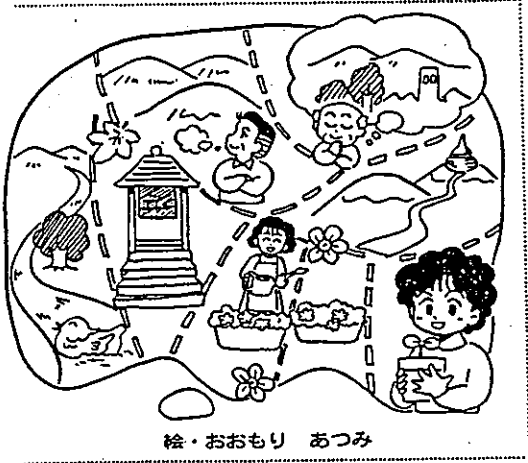


カラスの会の目標像

2. 新聞記事

水辺・歴史と文化・健康…

8つの顔持つ広島



絵・おおもり あつみ

ふれあいの水辺へ、歴史・文化ゾーンを整備…。広島市は本年度から、八区の個性を伸ばす地域づくり事業に取り組み。一件当たりの事業費は五十万円〜七百万円。区役所職員の見察や住民の協力を積極的に取り入れ、草の根の街づくり機運を盛り上げるが狙いだ。

(報道部・北村浩司)



区づくりの特色づくり

住民参加 職員提案 縦割り行政克服カギ

中区	並木通り、地蔵通りのボランティア花壇作り
西区	「歴史と文化を育む三滝」の整備計画策定
東区	牛田山、二葉山緑地の「健康づくりの道」整備計画策定
南区	比治山線通りの花のあるまちづくり事業
安佐南区	権現山、窓ヶ山、武田山の緑の整備計画策定
安佐北区	可部地区まちづくりワークショップや講演会の開催
安芸区	花づくり会員の事業や花づくり教室の開催
佐伯区	八幡川周辺のふれあいの水辺整備計画策定

「特色ある地域に」と、各区が知恵を絞った事業は、別表の通りだ。中区は繁華街にほど近い地蔵通り、並木通りの歩道花壇に、住民の手で花を植える。一件当たりの事業費は五十万円〜七百万円。区役所職員の見察や住民の協力を積極的に取り入れ、草の根の街づくり機運を盛り上げるが狙いだ。

「発想を生かせる」新市域も山や川など自然を生かした「顔」づくりに取り組み。安佐南区は「憩いの森」に指定されている武田山、権現山、窓ヶ山の魅力をアピールする。安佐北区では、街づくりが課題になっている可部地区で、住民が街づくりについて話し合うワークショップ

を設け、住民に管理を任せ、安芸区は公民館の花作り教室や花壇作り。西区では、三滝寺を中心とした参道や公園を歴史文化ゾーンとして整備する計画を作成する。

「頭脳集団」形成も広島市では、こうした点を克服しながら九年度以降も事業を続ける考えで、アイデアを数珠つなぎで、一区当たり五十万円を予算化した。区別も九年度のプラン作りに向けて、職員のプロジェクチームを編成する(中区)。一件当たりの事業費は五十万円〜七百万円。区役所職員の見察や住民の協力を積極的に取り入れ、草の根の街づくり機運を盛り上げるが狙いだ。

中国新聞(夕刊)
1996年(平成8年)4月8日

魅力あるまちづくりへ 推進事業

地域住民主体に 「探検隊」が出勤



五感を研ぎ澄ませまちを観察する探検隊

【広島・広島市】個性と魅力あるまちづくりを目指して、本年度から、広島市域全区域で「区」の特性を生かしたまちづくりの推進事業「地域住民が主体となった個性がスタートした。安佐北区では「みんなどてくふうくらりを展開している。」ワークシヨップ」という方法

を取り入れ、ゲーム感覚で「可部のまち探検」をした。ワークシヨップは、五感を研ぎ澄まし、実際にまちを歩いて観察し、楽しみながらまちづくりを考えようという活動。活動を企画、実行する行政、専門家グループ(JAグループ広島ほか)と市民ら約百三十人が参加した。小学生から高齢者までの参加者たちは、各班に分かれてそれぞれのテーマを持って探検した。まちの人々にインタビュールなどをすることで歴史や由来を教わり、参加者の中には「人は聞けないが、うしろの機会にいろいろ分かった」という声も上がり好評だった。なお、このワークシヨップは十一月九日に一回目が実施される予定。

日本農業新聞(朝刊)・1996年(平成8年)10月3日

社説

広島市市民局「まちづくり推進事業」が、公民館を巡る市民参加「広島市域」まちづくり推進事業として、本年度から、広島市域全区域で「区」の特性を生かしたまちづくりの推進事業「地域住民が主体となった個性がスタートした。安佐北区では「みんなどてくふうくらりを展開している。」ワークシヨップ」という方法

推進事業「地域住民が主体となった個性がスタートした。安佐北区では「みんなどてくふうくらりを展開している。」ワークシヨップ」という方法

推進事業「地域住民が主体となった個性がスタートした。安佐北区では「みんなどてくふうくらりを展開している。」ワークシヨップ」という方法

広島市まちづくり運動に望む

まちづくり運動に望む。市民が主体となり、まちづくりを進める。市民が主体となり、まちづくりを進める。

まちづくり運動に望む。市民が主体となり、まちづくりを進める。市民が主体となり、まちづくりを進める。

まちづくり運動に望む。市民が主体となり、まちづくりを進める。市民が主体となり、まちづくりを進める。

まちづくり運動に望む。市民が主体となり、まちづくりを進める。市民が主体となり、まちづくりを進める。

中国新聞(朝刊)・1996年(平成8年)9月23日

街づくりの活動を寸劇などで報告する市民グループのメンバー



熱演1時間半…

広島市安佐北区可部地区で今夏から街づくりを考える活動に取り組んできた市民グループが八日、安佐北区役所の講堂で、寸劇などを交えてユニークな報告会を開いた。

報告会には、市民グループのメンバーのほか、支援してきた安佐北区役所の職員や建築士会広島支部まちなつき委員会のメンバーたちも合わせて約百二十人が参加。グループが発足した八月以来、可部地区で実施した「探検」や講演会などの取り組みを、メンバー十

可部の将来像 寸劇交え紹介

市民グループ

手作り台本せりふは広島弁

六人が市民や区役所職員にふんじて、約一時間半にわたって紹介した。

台本はメンバーの手作りで、せりふは広島弁。「探検は楽しかったが、これで街づくりになるのか」などメンバーの本音も出され、和やかな雰囲気の中で活動の難しさを浮き彫りにした。探検活動などはスライドや新聞紙を交えて報告。改修工事が進められている根の谷川川の将来像についての提言も出された。

街づくりのための市民グループは、安佐北区役所が広報紙で呼び掛け、可部地区の住民を中心に四十五人で発足。来年もグループの自主活動を続け、安佐北区内の他地区との連携などに取り組む予定。

市民グループのメンバーで、寸劇の台本を作った会社役員友広大造さん(左)は「自分たちの声が行政に届くことを望みます。もっと多くの市民に私たちが一緒に街づくり活動に参加してほしい」と話している。

中国新聞(朝刊)・1996年(平成8年)12月10日

公園トイレは小さな美術館

可部のグループと小中学生



タイルに下絵描き

広島市安佐北区可部地区の「まちなつき」市民グループのメンバーが地元小中学生と一緒に、今春完成する公園のトイレに貼る絵タイル作りを取り組んでいる。街づくりを考える中から生まれたアイデアで、市民グループは「子どもたちが可部の街に愛着を持つきっかけになれば」と期待している。

十八日はグループメンバーのほか、小中学生二十八人が参加して、タイルに焼き付ける下絵描きをした。まず、街の歴史を知る狙いもあり、トイレルが造られる可部駅近くの明神公園に集結。大正時代まであった川船の船着場の模写や写真を見たり、川船の航跡を見たりした。その後、可部公民館で一人が十五四方のシート一枚ずつに、専用クレヨンで思い思いの絵を描いた。タイルに焼き付けられる絵を思い思いに描く作業もした。

市民グループは、可部地区各界の約五十人で昨年夏に結成。金合などで街づくりを話し合っている。メンバーの主婦田中加代さん(左)は「自分たちが描いた絵が残ることで、大きくなって可部の街に愛着を持ち続けてほしい」と話している。

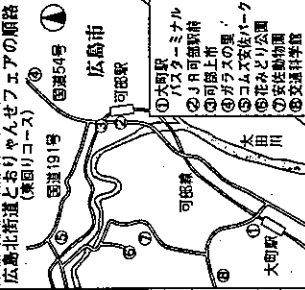
多くの子どもは動物や漫画のキャラクター、カーン選手などを題材に選んだが、可部小四年の三浦隆幸君(右)は「昔の街の様子を分かってほしい」と船着場でおおきく船頭を描いた。シートに描かれた絵は業者によってタイルに転写する。

明神公園の公衆トイレは、昨年十二月から改築工事が始まり、三月末に完成する予定。子どもたちの描いた絵が焼き付けられたタイル三十枚は、トイレ内外の壁に張り付けられる。

中国新聞(朝刊)・1997年(平成9年)1月23日

「広島北街道」 周遊バス巡り

8スポット 28—30日に運行



広島北部の観光スポットと周遊バスを巡る「広島北街道」周遊バスが28—30日の3日間、安芸北区内で周遊バスを巡り、観光地や文化施設の活性化を図る。安芸区内の市街マルチバス会社などの企業、専業主婦、安芸北区内の観光客などが参加する。

周遊バス「おどりやま」は、安芸北区内21丁目の大町駅バスターミナルを出発。安芸北区内の各スポットを巡り、大町駅に戻ります。

1. 大町駅
2. 大町駅前
3. 大町駅前
4. 大町駅前
5. 大町駅前
6. 大町駅前
7. 大町駅前
8. 大町駅前

1時間おき 地元も歓迎行事

八ヶ岳を巡る周遊バスと反対のコースを巡る周遊バスを1時間おきに各スポットで運行する。

1. 高部駅前などでは、地元住民でつくる「おどりやま」市街マルチバスが出現。旧町内の歴史や江戸時代から残る町並みを案内。安芸北区内各スポットの周遊バスは、地元の人びとが歓迎。おどりやまの周遊バスは、地元の人びとが歓迎。おどりやまの周遊バスは、地元の人びとが歓迎。

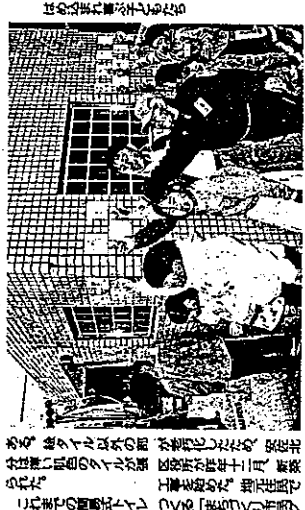
公衆トイレは 三三美術館

子供たちが絵タイル作品

小・中学生たちが制作した絵タイルを飾った公衆トイレが、広島市安芸北区内の三三美術館に完成した。子どもたちが公共トイレに絵タイルを飾ることは、広島市では初めて。美術館は「町づくりをすすめる会」が中心となり、制作している。

絵タイルは、美術館の正面玄関に設置された。子どもたちが制作した絵タイルは、美術館の正面玄関に設置された。子どもたちが制作した絵タイルは、美術館の正面玄関に設置された。

「汚さないで」



新築の公衆トイレの絵タイル制作の様子。子どもたちが絵タイルを制作している。

ひとこと

テレビゲームに登場するキャラクターのイラストを描いた。下絵より、はなはなと描き付けられた。イラストは「おどりやま」のロゴと、キャラクターのイラストを描いた。下絵より、はなはなと描き付けられた。



山下 健児君(12)

公園のトイレにタイル絵をかいた。市民グループが実施した。昨年末の「可部のまち探検」にも参加。町内を流れる根の谷川を散策した。「ごみや空き缶を捨てないでね」というメッセージが、子どもたちの協力のおかげで実現した。

中国新聞

1997年(平成9年)3月29日